

『函西さつぽろ』

つ、じヶ丘同窓会札幌

第4号

2007年12月20日
発行部数：500部
発行責任者：事務局

志高く

友部会報

十九年度つ、じヶ丘同窓会

札幌支部総会を終え



支部長 林 寿正

この度の同窓会総会で二期目の承認を頂き再スタートさせて頂きました（一昨年から、坂井前支部長より急遽引き継ぎさせて頂いております）。

ご承知のように、函館西高は創立百周年を迎え、昨年盛大に記念式典と祝賀会を致しました。一世紀に及ぶ伝統と歴史の重さを感じ、延べ三万五千人以上の卒業生のご活躍を思い描いた時、その素晴らしさと凄さに圧倒させられてしまいます。現代の多様化社会、目まぐるしい最新ハイテク技術、飽食生活への劇的变化、その激動の時代を生き抜いてきた皆様に対しあらためて敬意を表し同胞としての絆を大切にしていかなければと思っております。

当日参加出来なかつた方を含め、皆様と共に、百年という大きな節目を祝い、これまでの歴史を振り返り、懐かしみながら、未来へ向けてまた新たな人生を刻んで行きたいと思っております。

そんな中、札幌支部は、気分新たに再出発しようと札幌近郊二千二百名の名簿整理に取り掛かり、今後の更なる発展の為、ご案内や会の充実化、事務処理の簡素化、情報の共有化などを図っていく予定です。

最近の同窓会ブームの背景にある、「希薄な人間関係を見直して、広く人との繋がりができる」この同窓会を、一期一会として

大切に育みながら活かしていただければと思います。最後に、これからの同窓会発展のために、会則では「相互の親睦と母校の発展」と謳われておりますが、札幌支部は敢えて更なるテーマ「皆様の、皆様による、皆様のための同窓会」として再出発したいと考えております。どうぞ気兼ねなくご意見、ご提案を言っていただき、「楽しく」をサブテーマに皆様一人おひとりが積極的に関わっていただければ幸いです。

平成十九年度定期総会・懇親会報告
事務局長 菩提寺 孝幸
十月十二日（金）札幌ガーデンパラスにて、恩師小原孝男先生と高田正行先生、函館より本間麟太郎同窓会会長をご来賓に迎え、支部会員四十七名、函館より七回生二名の総勢五十二名参加と近年最高の人数で盛大に開催された。林支部長は挨拶の中で今年の案内方法についてなど支部会参加者増に向けた取り組みなどを報告、本間会長からは昨年の百周年記念事業についての報告などをお話し頂いた。議事に入り、十八年度収支決算報告と監査報告が承認された（次頁参照）。また会則の一部改定が承認された。役員改選があり井上事務局長が勇退、幹事の白畑さんと加藤さんが相談役に就任した。新役員として林支部長（再任）、渋谷幹事（再任）、菩提寺事務局長（新任）が承認を得た。他に立候補無く、支部長一任にて早々に決定する事とした。出席者より「参加者・役員共に若い層の取り込みについて」「会費の徴収について」「総会の会場について」「皆の意見の集約について」等の意見要望が出され今後の課題とする事とした。出席者全員で記念写真撮影後、小原先生のご発声で懇親会が始まり、ギター演奏や懐かしい函館のスライド写真を観ながら楽しい時間を過ごした。ギター演奏で「故郷」を全員で歌ったり、会員のスピーチや小原先生のお話などがあり、準備していたゲームが実施できないほどの盛り上がりであった。高女と西高の校歌を全員で斉唱したのち、高田先生のお言葉でお開きとした。二次会には十三名出席し今後の支部会についてなど熱く語り合った。

今回は、ご案内、開始時間の変更から始まって、いろいろと趣向を変え、役員改選では多くの仲間に見学して頂き、来年度はとも希望が持てるものとなりました。合同記念撮影会、懐かしの映像演出、「ふるさと」や校歌の合唱、音楽演奏、思い出スピーチ・・・等、来年度（平成二十年）の総会は、更に盛り上がると思っております。気楽で楽しい同窓会を目指しております。多くの皆様にご参加頂けます様こころよりお待ち申し上げます。

人生は、お一人様一回限りです。



また6回生や7回生（本間会長や函館2名を含め）等、同期会での二次会開催もあったようである。来年もまた元気に総会に出席することを誓い其々帰途についた。（総会参加者名簿は、ご欠席の皆様からのメッセージと共に別紙に掲載致します。）

< 新役員 >

相談役

白 畑 力 (6 回生)
加 藤 聖 子 (6 回生)

支部長

林 寿 正 (21 回生)

副支部長

幹事

伊 藤 祐 輔 (5 回生)
久 保 勝 哉 (10 回生)
早 藤 多 賀 子 (13 回生)
堂 野 前 知 恵 (15 回生)
今 川 かおる (23 回生)
堀 田 正 英 (24 回生)
渋 谷 亘 (26 回生)
竹 内 直 樹 (38 回生)

事務局長

菩 提 寺 孝 幸 (33 回生)

監査

久 松 由 貴 子 (11 回生)
荒 井 隆 義 (13 回生)
対 馬 良 司 (16 回生)

18 年度会計報告

会計：井上忠純

監査：白畑 力

< 一般会計収入の部 >

繰越金 366,056
維持費 67,500 (45 人)
助成金 60,000 (2 年分)
寄付金 1,500 (1 回生より)
雑収入 461 (預金利息)
合 計 495,517

< 一般会計支出の部 >

事務費 58,053
(テーク購入、ハガキ、ラベル代、P C 印他)
郵送費 23,680 (80 円 × 296 人)
特別会計へ 25,260
繰越金 388,524
合 計 495,517

< 特別会計収入の部 >

会 費 115,000 (23 人)
ご祝儀 30,000 (来賓 3 名)
一般会計より 25,260
合 計 170,260

< 特別会計支出の部 >

宴会費 125,000 (26 人分)
出演料 30,000 (合唱団へ)
ビンゴ景品 15,260 (図書券他)
合 計 170,260

ご寄付御礼 (維持費・はがき)

高女 39 回生 馬嶋元子さん
西高 1 回生 富樫忠雄さん
西高 3 回生 江口紀子さん
西高 4 回生 佐々木美弥子さん
西高 5 回生 緋田久一さん

会報「函西さっぽろ」や総会資料への
広告掲載を募集いたします。発行部数は
其々500 部程度で、カラー/白黒、内容も企
業/サークル/個人等、違法なものを除き自由
です。広告の大きさ・料金についてはお問
合せ下さい。ご協力お願い致します。

アンケート実施

- 1、今回参加しての感想(特に気付いた点など)
- 2、案内状、会場、料理、会費、時間についての意見
- 3、総会について
- 4、余興、ゲスト、ゲーム、テーブル席順について
- 5、二次会について
- 6、役員構成について(お手伝いいただける事も含め)
- 7、その他、提案など

アンケート結果をもとに役員会で検討し、より良い会にし
て参ります。次回総会にて詳細をご報告いたします。

19 年度 案内状送付状況

札幌市及び近郊在住の会員・特別会員 約 1780 名
(会則により過去 3 年間欠席の会費免除者含まず)
近郊：小樽・石狩・江別・千歳

出席の返信 54 名

欠席の返信 286 名

転居先不明等 226 名

返信の無かった 1126 名への今後の案内については、予算の
兼ね合いもあり検討が必要と思われる。

< アンケート結果 >

- 1、これからは良い会になりそうですね。
若い人を中心とした会に発展させるべき。
出席者が多い、資料が多いことがよかった。
- 2、若い人は仕事と車あり 6 時 30 分からは無理。
年会費込み 5000 円以下にして欲しい。
案内対象を 20 歳からに学割導入など検討を。
会場はわかりやすい場所にして欲しい。
案内は各期代表を決め期毎にしてもらっては。
9 月第四金曜に変え本部総会への参加を呼掛けては。
開催日は今のまま 10 月第二金曜がベストと思う。
(案内を周知徹底し予定を入れないようにしてもらおう)
年会費(維持費)徴収方法検討必要。(金額は今のままで)
- 3、皆の意見を聞くべき。
短時間で終了してよかった。
- 4、席順表があれば挨拶などで会話弾むと思う。
余興・ゲスト・ゲームは不要。
場が和む、笑顔で声が出せる...簡単なゲームも必要では。
以前のジャンケンゲームは 1 人参加者も声を出した。
若い順に参加者のスピーチを。
スピーチ苦手なので無理強いでなく良かった。
席は同期別々でいいので他年代と歓談したい。
同期は同じ席で年代とりまぜられてよかった。
- 5、二次会参加しましたがよかったですよ。
初めて、1 人で参加した方もゆっくり話せるいい時間では。
- 6、「函西さっぽろ」編集、相談役の申し出数名あり。

珊瑚会札幌開催雑誌

十回生 岡田 恭平
(昭和三十五年卒)

十回生の同期会は卒業以来、函館で開催されてきましたが、昨年8月末に函館の幹事団より来年の開催を札幌でとの打診がありました。

それも、次回開催打ち合わせ席上からの電話で…。中村公一幹事から矢継ぎ早に色々札幌開催の理由を聞かされたような気がしますが定かに記憶していません。要は黙って受けるとの首尾一貫した説得であったようです。寝耳に水の話で呆気にとられ聞いているうちに、つい「みっちゃん（山口道雄君・天祐寺住職）はどうしているの」と聞くと「ここにいるよ」との返事ですぐに電話口で…。開口一番「岡、黙って受ける」とのご託宣でした。同じ同期でも彼とは間断なく五年の付き合いで公私共にお世話になっており、先代のご住職やお母上にはたいそう可愛がっていただきました。彼に出てこられては断れません、「わかった、やってみる」と後先考えず引き受けてしまいました。最初の作業は札幌圏在住者のリストアップでした。三十名ほどの同期生の在住が判りましたが、顔も名前も思い出せない人が多く戸惑いました。それでも中学時代からの同期生が数人おり、中でも当時の生徒会長久保勝哉君の在住

を知り發起人代表の快諾を得ました。あとは一瀉千里、クラスごとの配分に留意しながら電話を掛け捲り総員十七名を發起人に強引に引き入れました。頼るわ西高十回生と云う一点のみで、よくぞ集まったものと母校と仲間意識の有難さに感謝々々でした。平成十八年九月十二日に第一回発起人会開催、「珊瑚会札幌開催実行委員会」とし委員長に久保君を選任しメンバーの役割分担を決定しました。併せて札幌開催の企画概略を次の十項目に決めました。

- 1、開催地宿泊は札幌市内
- 2、開催日は十九年十月十一日（木）
- 3、会場以外のアトラクション
- 4、札幌へのアクセス設定
- 5、函館開催と札幌開催の相違点分析（参加者から見た目で）
- 6、参加者数目標（百名）
- 7、重点目標
- 8、クラス別参加目標数確保
- 9、地域別参加目標数確保
- 10、共に函館圏、首都圏、札幌圏を重点地区とする
- 11、同伴企画の採用
- 12、参加経費の軽減を図るため基本日程の作成と誘導
- 13、広報活動
- 14、メール及びファックス網の整備
- 15、ブログの立ち上げ

爾来、開催までの1年余りスタンスのふらつきもなく実行委は一致団結し十六回会合を重ねました。その証左は実行委員会の出席率95%に表れております。

結果は出席総数九十六名、羽田からの航空設定便往復利用延べ三十六名、函館からのバス設定便往復延べ四十六名、札幌市内観光十七名、ゴルフ十名、パークゴルフ四名、同伴四組でした。

同期会そのものは参加者の協力もあり大盛會裡に校歌でしめくり終わりました。興味をお持ちの方はブログを覗いて下さい、一年間の活動をご覧頂けます。

<http://pub.ne.jp/hakodatewest/>



実行委員の面々・・・

小生にとつてのこの一年は何ものにも代えがたい貴重な時間の連続でした。それは、世俗の利害に関係なく純粹な心で昔の仲間と語り合えた事、実行委のメンバーに感謝です。その集大成として同期会参加の多くの仲間たちに感謝々々です。生涯の友として多くの仲間との友情を再確認できました。次回は二年後に卒業五十周年の記念大会になります。函館へバトンをお返ししますが、実行委員会は札幌支部に衣替えし大挙して参加できるように今から準備にかかります。この歳になると総じて健康あつてのこと、今後の支部幹事会のお酒はほどほどに切り上げることにも必要なようです。

(平成十九年十一月十四日)



想像していたよりも楽しかった

～初めて同窓会札幌支部に参加して～

今川かおる（二十三回生）

卒業して三十五年になりますが、同窓会に参加したこともなく、札幌支部の存在も実は知りませんでした。今回、思いがけず案内状を受け取った時も、出席する予定ではなかったのです。でも、同期の友人から「支部長さんの卒業年次って、私たちが一年生の時の三年生だね。ちょっと、参加してみない？」と声をかけられて気が変わりました。セーラー服も初々しい？新入生だった私の憧れの先輩がまさに、当時の三年生だったからで友人の誘いも、それを知っていたのものでした。

いよいよ当日。大きな会場に沢山のテーブルと人・人・人のはいないかしら・・・など、不安と気後れを感じながら会場へ入りました。ところが、予想以上にごんまりとした人数で、同じテーブルには初参加の方や年齢の近い方たちも少なくありません。さらに、幹事のみなさんの気配りや、お年を感じさせない大先輩のみなさんのパワーのお陰もあって、終始、和やかな雰囲気では進行していきます。気がつけば、私たちは何人かの方と次回同窓会での再会を約束し、すっかりくつろいでしまっていました。

やはり、多感な時代を同じ環境で過ごしたという無意識の親近感なのかもしれませんね。また、私自身がいわゆる「同窓会世代」に突入しつつあるということかなと、自分の年齢を改めて意識したりしています。

いずれにしても、想像以上に楽しいひとときでした。次回も、新しい出会いや、同時代を過ごした仲間との「再会」などがたくさんあることを期待しています。

（平成十九年十二月二日）



函館歴史文化観光検定

今流行りのご当地検定であり、東京支部の会報でも何人かの方が触れられておりますが、実は私も今年受験しようかと、テキストを購入し、函館商工会議所に申込用紙を請求しました。申込用紙に「初級」と「上級」があり、少し勉強してから決めようと思っているうちに、気がつくとも申し込み日が過ぎていた・・・状態でした。折角、勉強したのでテキストから少しだけご紹介させていただきます。

第4章の3節に『函館気質』について次のように書かれております。

「イイフリコキ」（エエフリコキ・イップリコキ）＝見栄を張る、格好をつけることで、人間誰でも持っているが函館人はこの傾向が強かったと言われている。明治大正時代には東北を跳び越して直接東京や欧米の文化が入ってきて男性は山高帽にフロックコート、女性は大らかな洋風帽子にドレス、派手な日傘を差し、颯爽と街中を歩く：こんな姿を観て「イイフリコキ」と人々は言ったのでしよう。他の人と違った言動で自分を表現する事は「個性」と通じるところがあり、良い意味でこれからも「イイフリコキ」が求められるのではないのでしょうか。

「内地志向」＝内地とは開拓使時代の通達で本道以外の地域をさす。一方、函館人は道内の道南以外を「奥地」と呼び、札幌に出かけるときも「奥地に行く」と言っていた。これは昭和十年まで東京以北で最大の人口を擁していた函館人の自負からきているとしている。内地志向の例として市内進学校の進学状況を挙げている。昭和十七年の進学先は旧制高等学校29名・北大予科18名。昭和二十九年の旧制帝国大への進学者数は北大16名・「内地」の大学23名。平成六年の私立大学入学動向をみても道内37%・道外63%：と時代が変わっても函館人の内地志向は強かった。平成十八年は景気の影響か道内51%・道外49%と逆転しているがそれでも半数は依然内地へ進学している。背景には海を挟んで本州を望むことが出来る親近感が市民の心に内地志向として大きく作用しているといえる。

皆さんも「イイフリコキ」「内地志向」でしようか？

検定は毎年十一月に函館にて開催されますので来年こそと思っております。受験してみようという方がおられましたらご連絡下さい。

十一月下旬の新聞に「いか検定」や「こんぶ検定」も作る予定との記事がありました。私は受けませんがご参考までに・・・。

（二十三回生 菩提寺 孝幸）

東京支部・関西支部の会報の抜粋です。

東京支部が取り組みを開始した「プロジェクト2010」、札幌支部も同じ問題を抱えており、今後参考にさせていただければと思います。

本部会報に掲載された、関西支部の記事に、今年から年二回の会報発行を目指しているとあります。札幌支部も頑張らねば…。

<h2 style="font-size: 2em;">ついでに丘だより東京</h2> <p>ついでに丘同窓会東京支部会報</p>		関西高等学校 ついでに丘同窓会東京支部 会長 新谷 義 克
〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 電話(FAX) 03-5609-9881 編集 高橋順吉(西高17回) 印刷 株式会社 七珠		

平成19年 5月20日 ついでに丘だより東京 第3号

プロジェクト「2010」発足
事務局若手担当
西高十九回 川瀬俊吉

この度、同窓会の永続的な発展のために2010年を目標とした新会員の発掘・増強を目的としたプロジェクト「2010」の発足式が平成十九年一月に開催されました。

少子高齢化が叫ばれる昨今、我々がプロジェクト同窓会も多分に漏れず先細り感を感じておられます。事務局で検討・学年幹事会で承認された組織は、二十一年から二十五年までの学年ごとに五年度ごとに担当して、その学年へのアドバンスや支援により第一・第二・第三・第四・第五の段階的に組織を活性化していくことに努めたいことを目標として、後継者を育成できる仕組みを構築したいと考えています。

平成十九年、大正・昭和・令和と時代は変わりますが、同窓会の発展を願うこと、共に歩んでいくこと、無理解なく、無理由なく、無条件に協力し合えること、これこそが同窓会の本質ではないでしょうか。今年度の活動目標として、第一歩を踏み出すことに挑戦したいと思います。

プロジェクト活動に臨んで
西高十三回 斉藤勝美

一月の幹事会において事務局の音頭により若い回生(二十一年・三十五回生)を担い上げていただくプロジェクトを立ち上げました。

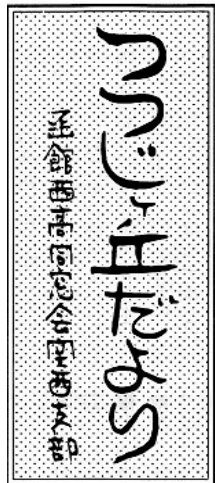
私が十三回生の担当は二十二・二十三回生と決まり、どのようにならなければならないかを4名の委員と相談の結果、総会出席者・年会費納付者・対象に電話をかける事にしました。最初にあつたつた会費が快く対応してくれました。感謝状を提出し、二十一年・三十五回生を担当する運びとなりました。

又、二十四・二十五回生を担当している十四回に連絡したところ、十七日に昼食をはさんで開会式が十七日(二十五回生)は都合がつかず欠席しました。五名の会員が出席しました。

自分たちの様なオナー生若者がいると思えば、今更には西高が、函館(西高)を愛する気持・認識を共有し、今後同窓会・同窓会への役割を示す為尽力して、彼らの先導としてこの会(プロジェクト)は有意義で有った事を皆で実感しました。

皆で感動したように、御座いました。

PJ2010 ステージュール	
第1ステージ (2007.01~2007.04)	・PJ委員による学年幹事発掘
第2ステージ (2007.05~2007.12)	・学年幹事中心役員を確定
第3ステージ (2008.01~2008.12)	・若手同期会の集いをサポート
第4ステージ (2009.01~2009.05)	・第13回総会出席者呼びかけ ・同期会開催の定着化サポート
第5ステージ (2009.06~2010.12)	・自発的活動サポート ・後進の育成活動担当



関西支部より今年の抱負

関西支部 会長 富士昭一

新年あけましておめでとうございます。平成十九年の新春にあたり一言ご挨拶申し上げます。関西支部の皆様にはお元気で良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

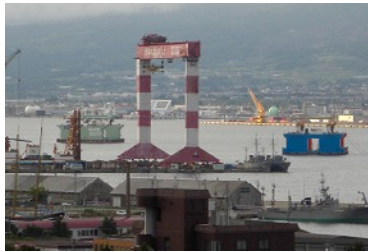
昨年は何と言っても創立百周年記念の輝かしい式典・祝賀会が行われた歴史的な一年でした。沢山の同窓生が参加され共に喜びを分かち合いました。関西支部が企画しました「函館ツアー」にも二十名の方が参加頂き有難うございました。またそれぞれの同期会にも出席され、久しぶりの懐かしいとの再会も果たされて楽しい時を過ごされた事と思います。また三月には百周年記念誌も発行されますので期待したいと思います。

「ついでに丘だより」も平成十八年度夏号を休刊、総会も休会としましたが、今年からは年二回の発行を目指します。総会も今年十一月に久しぶりに神戸で開催したいと思っております。出来ればその時に百周年記念歌「この坂から」をCDにして、その感動を皆様にご披露したいものだと考えております。詳細についてはこれから幹事会にて決めてまいりますので、よろしくご協力頂きます様お願い申し上げます。

それでは、今年もお健やかに過ごして下さいませ。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新緑のご挨拶とさせていただきます。

関西支部会長富士昭一氏が「関西函館をおもう会」の会長になっておられ、昨年5月「函館ふるさと訪問ツアー」を催された。尚「関西函館をおもう会」は、創立25周年を迎え、昨年2月、盛大に記念総会を行った。





授業中！
に窓から
眺めてい
ませんか？

「西高より見た函館ドックのクレーン」
正確には、現「函館どつく」の隣、旧函館ドック跡地に建つクレーンですが、老朽化が進み撤去の報道がありました。撤去の時期は未定とのことですが、函館港のシンボリック的存在なだけに寂しいですね。同跡地は「函館国際水産・海洋都市構想」の拠点地となる予定。



支部総会でも話題とな
ってしまし
たが...

9月9日北海道新聞道南版に「西高野球部員不足！ベンチ入り枠 18名の部員がおらず、バレー部から助っ人が入り公式戦出場」との記事が...。ボート部やラグビー部は既に廃部になっているとのこと。

「つ、じヶ丘同窓会札幌支部」会則

15年10月10日(制定)
19年10月12日(改正)

1. 本会は「つ、じヶ丘同窓会札幌支部」と称し事務局を支部長宅に置く。
2. 本会は同窓生の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
3. 会員は、札幌及び近隣市町村在住の旧庁立函館高等女学校、旧道立函館女子高等学校(併設中学校を含む)及び函館西高等学校の同窓生で、本会の主旨に賛同又はご支援いただける方とする。*近隣市町村：小樽、江別、石狩、北広島、恵庭、千歳
4. この会の運営のために次の役員を置く。
○支部長1名 ○副支部長2名 ○事務局長1名 ○幹事 若干名
○監査1名 相談役...必要に応じ支部長が依頼する
役員は総会で選び、任期は2年間とし再任は妨げない。(3期まで)
5. この会は、毎年1回定期総会(10月第2金曜日)を開く。また、必要に応じ臨時総会を開く。
6. 会員はこの会を維持するために、総会で定めた会費を納める。(年会費1,500円。ただし70歳以上は翌年度から年会費は免除される。)
7. 年会費は総会時に納めるか、定期総会までに北洋銀行大通支店(301)普通口座つじヶ丘同窓会札幌支部口座番号 0537344 まで振込む事とする。(氏名の後に卒業年次を記入)
8. 年会費免除会員への総会等の案内状はその前3回連続して欠席した者には送付しない。
9. 会計年度は、毎年10月1日に始まり翌年9月30日までとする。
10. 札幌及び近隣在住の函館西高教諭経験者は特別会員とし年会費は徴収しない。

つ、じヶ丘同窓会札幌支部会計支出原則

15年4月1日(制定)

同窓会費の支出は、適正な支出として下記のものとする。

- 1) 札幌支部同窓会定期総会及び臨時総会の費用
 - 2) 総会案内状等の会員への通信費や幹事への打ち合わせ通信費
 - 3) 総会資料及び会員や幹事への案内資料等の作成費
 - 4) 幹事打ち合わせ費(コーヒー代程度とする)
 - 5) 母校への寄付金等
- 以上

つ、じヶ丘同窓会

本部：函館市元町7 17 函館西高等学校内 0138 23 8415
HP <http://www14.plala.or.jp/h-oku190622/nisi-dousoukai1.htm>

札幌支部：(支部長)札幌市豊平区平岸2条6丁目 ジュリアン内 011 831 4622
E-mail julian@remus.dti.ne.jp
(事務局)札幌市南区南38条西11丁目10番1号 011 581 5626
E-mail boda-easy-mail.1964@jcom.home.ne.jp HP (準備中)

次回札幌支部定期総会&懇親会は、**平成20年10月10日18時30分**からです。**カレンダーに**
お知らせ
年会費(維持費)1500円の納入は総会参加時又は下記口座へ振込みにてお願い致します。
北洋銀行大通支店(普)0537344 つじヶ丘同窓会札幌支部 (振込人名の後に卒年/期を入れて下さい)
ご自身の転居などの連絡や同期生の動向などを是非お知らせ下さい。
札幌支部会員の各種変更を同窓会本部へ届け出る窓口としての役割も果たしたいと思います。

<編集後記> 今年の総会は参加者が多かった...と言っても二千人中の50人。当日仕事や先約がある、ご本人やご家族が病気療養中、高齢で...。残念ながら出席できない方が多いようです。でも同窓会札幌支部の活動は年1回の総会だけではありません。会報「函西さっぽろ」があります！この誌面も同窓会です。母校や故郷への思いと共に仲間へのメッセージを発信して下さい。題材は問いません、投稿をお待ちしております。(事務局)